

# 映像制作基礎セミナー

国際企業映像協会では、企業内映像担当者の方々のために、「映像制作ハンドブック」（玄光社出版）を教本にした映像制作基礎セミナーを企画することになりました。

本の内容を紐解くというよりは、その中から直ぐに役立つ実践論を、実習を交えて確認しようというものです。

実習等は、当協会オリジナルとなります。



講師には、企業内で既に制作経験のある方々とプロを交え、分かるまで、実習をしていただく、少人数制の特別セミナーです。各セミナー4名を限定しておりますので、スケジュールが合えば、すぐにお申し込みください。

また、4回（2ヶ月）で一巡いたしますので、1巡目の1コマ目を逃しても2巡目の1コマ目を受ければ問題ありません。

初めて映像を作られる方、作り始めたけど、どうしたらもっと効果的な映像になるのか悩まれている方、必見です。

ぜひ、お申し込み下さい。

なお、お申し込みにあたり、「映像制作ハンドブック」（玄光社出版）1,900円を教科書とします。各自購入の上、熟読しておくことが前提となります。

当協会からご購入の場合、割引がありますので、お問い合わせください。

遂行されるかどうかの連絡は、申し込み当事者に直接ご連絡いたします。

開催のご確認は、事務局までお問い合わせ下さい。

※プロの方はご参加できない場合もあります。

**国際企業映像協会（ITVAー日本）**  
**「映像制作ハンドブック」を中心とした映像制作基礎セミナーカリキュラム**

**「企業内映像担当者に求められる基礎講座」**  
**～すぐに役立つ実践論～**

★映像制作の基礎とポイントを知ることによって、映像ツールの効果を上げる。

（★印は各項目の狙いです。）

最低遂行人数3名（限定4名）

**パート1. 撮影前に何が必要（2H）プリプロ**

1. 映像制作の流れとスタッフの役割。

プロデューサー概論1（映像制作の流れ・スタッフの役割）

★映像制作の行程を知り、効率的なプロセスを考え、自分の役割を的確に果たす。

2. 各プロセスごとのポイント。

企画/構成（5W1H・シナリオの重要性・シナリオの表現・コンテ）

★企画の重要性と構成から台本への展開、ナレーション文の基礎文法を知り、無駄を省く。

撮影準備（オリエンテーション・ロケハンの重要性）

★基本条件からリスク回避した効果的、効率的、制作準備を考える。

【実習A】企画シートの書き方

【実習B】構成から台本への展開

**パート2. 撮影時のポイント（3H）**

1. 撮影基礎（レンズの特性・画面サイズ・カメラ高さやアングル・カメラワーク・撮影機材

・撮影の実際）

★カメラの基本を知り、コンセプトと画角の関係を考えながら、最適なショットを撮る。

2. 照明基礎（照明の役割・色彩表現～照度と色彩・ライト/ポジション・照明機材

・3灯照明の基本と応用・その他の照明）

★照明の意味を考えながら、現場で最適な絵作りを考える。

3. 録音基礎（録音の基礎・音声の物理・録音機材1マイク・録音機材2その他

・スタジオ録音の実際・ロケでの録音実技）

★音の持つ効果について考え、最適な音を撮るための課題を知る

【実習C】構図（カメラワーク）

【実習D】基本照明（立体的な照明）

【実習E】インタビュー時のロケ準備

### パート3. 編集時のポイント (3H)

1. 編集基礎 (編集とは何か・役割・実際・技法・イマジナーライン・音によるカッティング・テロップデザイン)  
★編集の意味や、つなぎ方の種類と効果を知り、効果的な編集を考える。
2. ポスプロ (ポスプロとは・インタレースとフレームレート・モニタリング・カラーコレクション・MA・納品形態)  
★後処理でリカバーできる範囲を知り、収録時に出来ることの基礎を考える。

【実習 F】 基本編集 (カット・シーン・シークエンス・ブロックの考え方)

【実習 G】 カラーコレクション事例

### パート4. 編集素材と関連知識 (2H)

1. 素材制作 (コンピュータグラフィックス・2 DCG・3 DCG・画像合成・音素材・音素材作成)  
★画像素材・音素材の基本を知り、効果的な画面・シーンを考え、編集効果に役立てる。
2. 関連知識 (ビデオフォーマット・HD・データ圧縮・フィルムコミッション・著作権/個人情報保護法・ロケハン)  
★映像環境を取り巻くデジタル系フォーマットを把握して、活用法の幅を広げる。  
著作権、人権を取り巻く法律を把握して、映像に於けるのコンプライアンス考え方を学ぶ。

【実習 H】 テロップ・フリップ於ける色彩学

【実習 I】 合成の応用